

勝海舟没後110年記念
人間庶民文化賞を贈る秋のつどい
表彰式



人間中心の世の中をめざして 草の根から力をつくしくましよう

今年「勝海舟没後百年」、来年は「韓国併合」百年

(一)
十一月二十二日(日)、「下町人間庶民文化賞を贈る秋のつどい」を開きます。授賞式は浅草寺伝法院大書院で、祝賀会は浅草公会堂でおこないます。

この事業は、庶民のくらしと文化、民主主義と平和をまもり人間を大切に世の中をつくるために一隅を照らして貢献された個人・団体を顕彰し、その業績をつぎの世代にひきつぐためにはじめたものです。二十四回目の今回で、百六十の個人・団体を顕彰することになります。

(二)
今年の受賞者は、笑いで下町庶民をほげまし、いまなお芸をみがきつづける落語家の三遊亭圓歌さん(日本落語協会最高顧問)、小繋事件・松川事件をはじめ市民の人權をまもるために専念されている弁護士竹澤哲夫さん(日弁連元人権委員長)、今戸延命地蔵の歴史を調べ平和教育に献身された台東商業高校元教諭の玉井憲二さん(東京大空襲資料展実行委員)、劇映画「いのちの山河」製作・上映協力会代表世話人・九条の会東京連絡会事務局代表の都丸哲也さん

(元保谷市長)、「住民が主人公」の地域おこしを支援してきた雑誌『谷根千』発行所・谷根千工房の五個人・団体です。

故人に贈る特別功労賞の受賞者は、反核・平和運動に献身された広島原爆被爆者の故・大倉記代さん(「サタコ・虹其堂」創設者)、「人間の尊厳をまもる」を座標軸に生涯をつらぬいた故・三橋和芳さん(下町人間の会副会長)、庶民とアジアの心を大切に、くらしと文化・民主主義と平和をまもるために挺身された故・吉岡吉典さん(元参議院議員)の三氏です。

(三)
勝海舟没後百年目にあたる今年、私たちは、東アジア共同体構想をはじめ、勝海舟を軸に日本の近現代史を考える立場から活動し、憲法をまもる劇映画「いのちの山河」の製作・上映に協力してきました。来年二〇一〇年は、「韓国併合」百年、安保闘争五十年の節目の年です。「核兵器のない世界」をめざす国際会議(核拡散防止条約再検討会議)も開かれます。

私たちは、節目の年にふさわしい諸行事を企画・推進します。人間中心の世の中をめざして、草の根から力をつくしくましよう。

天物講と 下町人間のつどい

2009年11月10日
No. 133

〒110-0011
東京都台東区三ノ輪1-26-9
Tel 03(3876)4779
Fax 03(5824)0541

下町人間の会事務局

発行 山口義夫
発行所 下町総研
東京都台東区三ノ輪1-26-9
編集責任者 川杉元延
編集長 高井統嗣